

## 令和5年度「海と日本 PROJECT」イベント実施報告

一般社団法人日本中小型造船工業会

日本中小型造船工業会と日本財団は、国土交通省の協賛を受け、本年も「海と日本 PROJECT」の一環で、「この地球で一番大きな工業製品『船』を見に行こう!!」をテーマに、令和5年5月～令和6年1月にかけて造船所構内での祭イベントや体験乗船会、各種見学会等を開催しました。

今年で9年目を迎える本事業は、全国各地に所在する造船所や関連企業の協力のもと、次代を担う子供たちに、楽しみながら海事産業を知ってもらうことを目的に、7月～10月頃、夏休みから秋のイベントシーズンを中心に実施しており、本年度の開催回数は延べ25回、参加者数は7,103名となりました。

5月27日、28日には、バリシップ2023に協賛し、その特別イベントとして、レゴ®ブロックを使って自由に未来の船を組み立てる体験型イベント「ドリームバリシップファクトリー」を開催、船の造り方を学びながら思い思いの船を作って楽しんでもらいました。

熊本ドック、東北ドック鉄工、向島ドック、墨田川造船、佐伯重工業、南日本造船、多度津造船では、工場見学等と併せた構内での祭イベントも実施し、多くの従業員ご家族や地元住民の方々に来場いただきました。中でも、東北ドック鉄工には、スペシャルゲストとして海と日本 PROJECT の公式アンバサダーであるサザエさんにも登場してもらい、子ども達との記念撮影など盛り上がりを見せていました。また、ツネイシクラフト&ファシリティーズ建造の水素燃料船「ハイドロびんご」の体験乗船会を今年度は横浜港で開催し、環境に優しい脱炭素燃料 水素について学びながら、多くの家族にクルーズを楽しんでもらいました。

予想を超える7,000名以上の方々に参加していただけたことは、子ども達を含む多くの人々に船や海に対する好奇心を喚起し、地域の雇用や経済を支える海事産業の大切さを知ってもらう機会を提供することができたと考えています。

※見学会実施一覧は別表参照

